

国見作家手帖

OITA KUNISAKI

KUNIMI ARTIST FILE

アーティストファイル

国見町の作家たち

六郷満山文化が栄えた仏の里・国東市。

神仏習合の歴史遺産が数多く残された国見町は

「アートの町」とも呼ばれています。

さまざまな分野のアーティストが国見町の豊かな自然と

奥深い歴史文化に魅力を感じ、

各地から移住する事例も増えています。

そんな国見町在住の作家によって結成された国見アートの会。

今回は、会員だけでなく、国見町で制作に励む作家を広くご紹介したいと

本誌を作成することとなりました。

制作の拠点として国見町にどのような魅力を感じているかなど

アーティストの言葉とともに作品の一部をご紹介します。

個性豊かな作家たちの仕事をぜひご覧ください。

重光 哲雄 ————— 竹工芸

恒成 哲三郎 ————— 木工

手島 寛子 ————— 陶芸河童

小野 豊一 ————— 染色

岡 美希 ————— 陶芸

森山 桂司 ————— 多様性ユニット

森山 香菜恵

榎木 高 ————— 絵画

中野 直美 ————— 陶芸・ガラス工芸

中野・マーク・周作

垣野 勝司 ————— 陶芸

秋本 順子 ————— 金工

三村 竹萌 ————— 竹工芸

山口 正文 ————— 絵画

和田 木乃実 ————— 表装

和田 圭介・和田 薫

佐藤 公道 ————— 仏像彫刻

佐藤 常晃

福永 泰信 ————— 陶芸

国見アートの会 会員に関わらず、国見町で制作活動に励む多彩な作家たちをご紹介します。



重光 哲雄 竹工房 一会庵

TETSUO SHIGEMITSU
—— 竹工芸

略歴

- 1943年 国東市国見町生まれ
- 1965年 製菓業界 漢方〜新薬 (現グラクソ スミスクライン勤務)
- 1985年 当業界を退き、竹工芸(師 綾部経雲斎)、書芸の道に入る 静岡葎山(現伊豆の国市)に竹工房開設
- 1993年 伊豆より千葉の野田市に工房を移し、竹工房(一会庵)を開設 美術団体「アートギャラリー四季」「馬酔木書芸」等に所属 新宿小田急デパート等、百貨店、個人画廊等で個展を重ねる
- 2007年 生家の都合にて国見町に戻り 竹工房(一会庵) 書道教室「馬酔木」を開き、現在に至る



ARTIST'S VOICE

私の制作する作品は基本的に竹を素材とする茶道具から始まった。素材選びが大変重要である。制作する物に最適と思われる素材を自ら竹林に入り伐採する。仕事の中で最も緊張すると同時に、最も楽しいときでもある。今年はどうな「かぐや姫」に出会えるかな…と思いながら。温暖な国東半島の山は石の多い土地柄で、そこに育つ竹は頑強で質も良いようだ。命を貰った竹だから大切に工芸品としての生命を吹き込もう。未永く愛用されるものにしよう…。



ADDRESS

大分県国東市国見町向田 392 番地
tel.0978-83-0332



垣野 勝司 くにさきかたち工房

KATSUSHI KAKINO
—— 陶芸

略歴

- 1970年 千葉に生まれる
- 1994年 武蔵野美術大学工芸工業デザイン科卒 在学期間、遺跡に興味を持ち、メキシコ、韓国、中国、タイ、ベトナム、カンボジア、インドネシア、マレーシアをまわる
- 1995年 クラフトショップ「かたち屋」を始める
- 1998年 作陶を始める
- 2012年 国東半島に移住

展覧会

- 2006、7、8年 「作品展」江戸幕白木屋ギャラリー(東京)
- 2013年 「作陶展」花想容(東京) クラフトフェア「工房からの風」参加
- 2014年 「磁力と地力」アートプラザ(大分市)
- 2015年 「d47museum d design travel OITA EXHIBITION」渋谷ヒカリエ(東京)
- 2016年 「クラフトフェアまつもと」参加
- 2020年 「くにさきクラフト展」岩田屋本店(福岡)



ARTIST'S VOICE

現在、田一反、畑五畝を耕作しながら制作しております。土に根ざした暮らしの中で、身近な素材を使って作陶しています。海に囲まれ、里山が広がる国東半島での暮らしは、四季折々、毎日新しい風景に出会い、自然の一部として生きていることを強く感じます。ものづくりとは、制作を通して内的な自然を探る旅なのかもしれません。その旅をたくさんの人と歩めたら、これほどしあわせなことはないと思います。



ADDRESS

大分県国東市国見町大熊毛 32
tel.050-3444-2137



恒成 哲三郎 くにしき六郷舎 TETSUSABURO TSUNENARI 木工

略歴

1948年 福岡県北九州市若松 生まれ
 1968年 自転車世界の旅を志し出国
 1976年 福岡県宗像市にて工房茶輪子設立
 1985年 長野県立上松高等技術専門校木工科入校
 1987年 国東市国見町に家具木工房「くにしき六郷舎」設立

受賞歴

1987年 「リビングボード」長野県知事賞受賞
 1993年 「パンプススピーカー」全国商工会連合会長賞
 国東市清末邸豊の国木造住宅賞入選
 2000年 「樹の椅子」鹿児島県準人町 南風のかぜ生活文化賞
 2003年 「姫胡桃のmy chair」南風のかぜ生活文化賞



ARTIST'S VOICE

いろんな土地を旅して見つけた国東半島の最も奥まったこの地に移り住み、早 33 年。約 1300 年前からの史跡や文化財等の遺産に囲まれ、不思議な磁力を感じながらの仕事は心身共に喜びを感じます。素性の良い目の詰んだ北海道の良材や個性豊かな地元産の木材を適材適所に使い分け、お客様の注文に応じた家具、木工小物等を作り続けています。檜、樺、桜、樺、タモなど堅木の広葉樹を使い、ドイツ家具のデザインをベースにシンプルで使うほどに輝きを増す、孫の代まで使える家具を作り続けています。

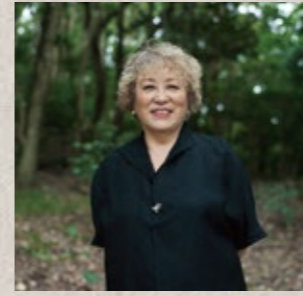
展覧会

- 1999年「伝統工芸名人展」福岡天神大丸百貨店出展他
- 2001,02年「全国職人技ひとすじ展」横浜そごう百貨店他
- 2003年「九州、沖縄展」伊勢丹新宿本店、松戸、浦和、府中、相模原
- 2004年「日本の職人百人展」東京池袋東武百貨店他
- 2005年 創作木工家具個展 伊勢丹百貨店府中店他
- 2006年 工房家具展 伊勢丹百貨店府中店他
- 2008年「日本の職人匠の技展」大阪梅田阪急百貨店本店他
- 2009.11.13年 第1回～第3回「磁力と地力展」大分アートプラザ等他職人展等「テントロンドン日本の職人展」(イギリス/ロンドン)
- 2014年「日本の職人展」(シンガポール/ジュロン)
- 2015年「現代の職人たち展」横浜高島屋他
- 2016年「日本の職人展個展」(シンガポール/ジュロン)
- 2017年「現代の職人たちの技展」横浜高島屋他
- 2019年「暮らしの道具展」銀座三越
- 2020年「暮らしの道具展」大阪高島屋「くにしきクラフト展」福岡岩田屋本店「暮らしの道具展」東武百貨店 船橋店



ADDRESS

大分県国東市国見町野田 2097-1
 tel.0978-82-0748



秋本 順子 アトリエjun JUNKO AKIMOTO 金工

略歴

1946年 福岡県生まれ
 1968年 武蔵野美術大学産業デザイン科卒業
 1970年 アトリエ・ジュン主宰
 現在 朝日カルチャーセンター(福岡/北九州教室)メタルアート講師

受賞歴

1979年 九州クラフトデザイナー協会展 入選
 九州新工芸展 入選
 1982年 九州クラフトデザイナー協会展 市長賞

展覧会

- 1970～77年 第1～3回「銀と銅の広がりの世界展」サン画廊(福岡)
- 1990～94年 第1～3回「金属と色の世界展」ギャラリートワール(福岡)
- 1995～02年 第1～5回「3ARTIST JOINT EXHIBITION」(オランダ/アムステルダム)
- 1998年 「METAL WORK EXHIBITION」(オーストラリア/チルダース)
- 2009～13年 第1～3回「磁力と地力展」アートプラザ(大分)
- 2016年 「METAL WORK EXHIBITION」「国東からの風」ギャラリー大道(大分)
- 2017年 「国東からの風」ギャラリートワール(福岡)
- 2018年 ギャラリー船越記念館 個展(福岡)
- 2020年 「くにしきクラフト展」岩田屋本店(福岡)



ARTIST'S VOICE

不思議な地力があるのか、磁力を感じて引き寄せられ、既成概念をときほぐしてくれるこの地での創作の日々です。国東の自然のなかで四季のうつろいを感じながら METAL と向き合い制作を重ねています。海岸で拾った「かもめ貝」が穴をあけた面白い石ころ、シーグラスとの出会いは自然への感謝と制作への力を与えてくれています。自然との対話を表現し続ける人生を歩みたいと思っています。



ADDRESS

大分県国東市国見町中 126
 tel.090-3600-7779





手島 寛子 ギャラリー-てしま

HIROKO TESHIMA
—— 陶芸河童

略歴

1941年 東京生まれ
名古屋で15年間学生時代を過ごす
別府で自営業30年、やがて陶芸の道に入る
独自の「陶芸河童」を生み出す
別府市役所、伊予銀行、別府市民ギャラリー、
鉄輪湯けむり工芸展展示販売
平成20年5月、母の在所である伊美に引越し現在に至る



ARTIST'S VOICE

母の仕事の関係で転々となりましたが、やがて空き家になったふるさとに落ち着くことになり 13 年が経ちました。国見町に来る前から陶芸河童を作っていて、展示販売イベント等への参加も約 30 年続いています。自分が変わってゆくうち、全体の表情も豊かになり、観てくれた人の言葉からヒントをもらい試行錯誤するうちに納得いくような河童に近づきました。次元を上げてより芸術的なものになるよう努力し、国見活性化に貢献して、助けてくれた方々に恩返しをしたいです。

ADDRESS

大分県国東市国見町
伊美 2-2711-4
tel.0978-82-0002
090-5731-6339



三村竹萌

CHIKUHO MIMURA
—— 竹工芸

Chikuhō Bamboo Art Lab.

展覧会

1973年 東京都立川市で生まれる
1992年 東海大学菅生高等学校 卒業
1994年 尚美音楽短期大学器楽科トロンボーン専攻卒業
1996年 ドイツ(ハイデルベルグ)へ留学
1997年 大分県立別府高等技術専門学校 入校
1997年 別府竹細工伝統工芸士油布昌伯氏に師事
1999年 別府産業工芸試験所 研究課程 入所
2000年 独立 【竹萌】襲名
2003年~TAI Gallery との契約を期にmodern artを目指し全米 Art Alive(サンフランシスコ・アジア美術館) Chicago SOFA(シカゴ) NY SOFA(ニューヨーク)International Folk Art Marke(サンタフェ)など NEXT GENERATION「次世代の祭典」(サンフランシスコ)にてファイナリストに選出
2007年 国東へ移住し【Chikuhō Bamboo Art Lab.】を開設
2014年



ARTIST'S VOICE

工房を国見町に移してから作風が変わってきており、自然の流れを直に感じながらそれに逆らうことなく作品制作がシンプルにできるようになりました。より竹芸の本質に近づけるよう精進を続けます。



ADDRESS

大分県国見町伊美 2578-3
[FB]Chikuhō Bamboo Art LAB.
<https://www.facebook.com/c.b.a.lab>
メール tom.bambus@gmail.com





小野豊一 岡美希

TOYOKAZU ONO, MIKI OKA
—— 染色、陶芸

すずめ草

小野豊一 略歴

1982年 広島県生まれ
2003年 広島芸術専門学校グラフィックデザイン科卒業
2004年 株式会社吉田旗店にて染めの見習い
2008年 有限会社豊栄堂染工場入社
2014年 よつめ染布舎として活動を始める
2015年 拠点を大分県国東市に移し工房を新設

岡美希 略歴

1984年 広島県生まれ
2005年 京都嵯峨芸術短期大学 陶芸コース卒業
ANU college キャンベラ/オーストラリア留学
2006年 The Saint John's Pottery ミネソタ州/アメリカにて作陶
2007年 広島県山県郡北広島町に工房美器を構える
2011年 アメリカ/ミネソタ州にて作陶
2012年 Charles Darwin University アリススプリングス/オーストラリアにてArtisit-in-Residenceとして作陶活動
Canberra Potters Society キャンベラ/オーストラリアにてArtisit-in-Residenceとして作陶活動
2015年 大分県国東市国見町に家族で移住、工房兼ギャラリーすずめ草をオープン
その他、個展・グループ展 多数。

ARTIST'S VOICE

すずめ草はよつめ染布舎（染色）と岡美希（陶芸）の工房です。私たちは夫婦でそれぞれものづくりをしています。よつめ染布舎では型染めという技法を用いポップで楽しい布を染めています。暖簾や卓布、手ぬぐい、衣服など暮らしの布を中心に展開しております。岡美希の陶芸もポップで楽しい。とても派手な色使いだったり器に描かれた花や生き物たちは生命力で溢れています。マグカップやお茶碗などの器も作っておりますが、これからはオブジェなどのアート作品にも力を入れていきたいです。



ADDRESS

大分県国東市国見町伊美 2525-1
tel.090-7500-0182



TOYOKAZU ONO



MIKI OKA



山口正文 画家

MASAFUMI YAMAGUCHI

—— 絵画

略歴

1958年 国東市国見町 生まれ
1984年 東京芸術大学美術学部絵画科卒業
1986年 東京芸術大学大学院美術研究科油画専攻終了

パブリックコレクション

大分市美術館

展覧会

1982年 7人展 東京芸大展示室
1996年 大分銀行本店2Fロビー 個展(大分)
フィリップモリスアートアワード1966
最終審査展 青山スパイラル(東京)
1997年 第6回「英展」田川市美術館(福岡)
2004年 海岸通りギャラリーCASO(大阪) 個展
2005年 村松画廊(東京) 個展
2006年 「大分の現代作家たち」大分市美術館(大分)
和木美術館(山口) 個展

2007年 「平面と空間-絵画の新世代-」
アートプラザ(大分)
2009、11、13、17年
「磁力と地力」アートプラザ(大分)
2015年 「構成とモノクローム」抽象絵画の魅力
アートプラザ(大分)
第24回「英展」田川市美術館(福岡)



ARTIST'S VOICE

国東に帰郷し30年。制作の方向も作品と展示空間との響合いを求めた抽象画制作から、さらには作品と向かい合い対話することで見えてくる痕跡のようなものを絵画に求めている時を経て、やはり根底にあるのは国東の風景であり、暮らしであることを改めて感じています。今後も生活の中で見つけた普遍的なもの、美しさを感じるものをテーマに制作を続けていきたいと思っています。



ADDRESS

大分県国東市国見町西方寺 59
tel.090-8415-7001



森山 桂司 森山 香菜恵 wakuwaku works

KEIJI MORIYAMA, KANAE MORIYAMA
—— 多様性ユニット

森山 桂司 略歴

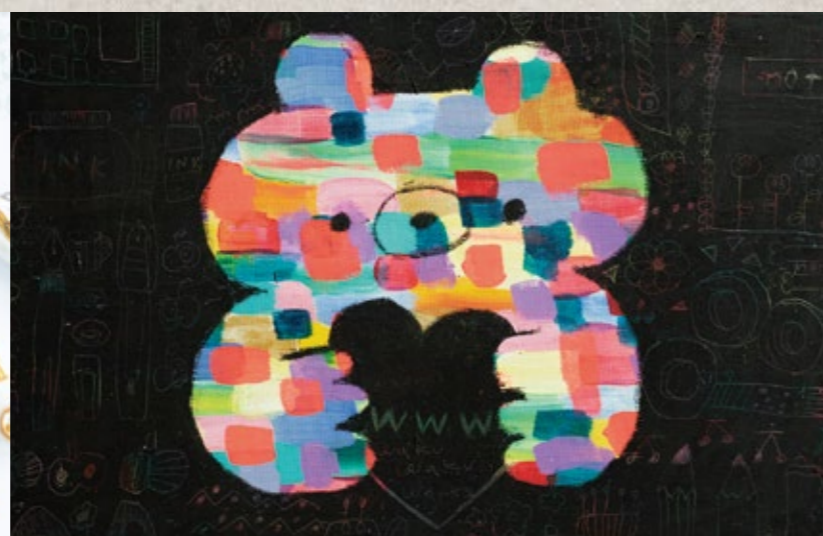
2013年 ART PROJECT OITA [循環] 106号室個展『フキンクキソク』
2015年 フンドーキンマンション106号室
作品展示・壁画作成gallery01合同展示『ナナ/ゼロイチ』
別府市 こちカフェむすびの個展『インスタントプラブラ』
アートプロジェクト『混浴温泉世界』
わくわく混浴デパートメント作品展示
2016年 Design Cafe3に参加
2017年 国東へ移住。夫婦でwakuwaku worksとして始動。

森山 香菜恵 略歴

1983年 別府市生まれ
2012年 結婚を機に夫婦でモノヅクリを始める
2013年 別府市「こちカフェむすびの」にて手づくり雑貨とアートのイベント
hand made marketを主催
フンドーキンマンションにて「二人展」開催
2015年 GALLERY01にてグループ展「ナナゼロイチ」に参加
こちカフェむすびのにて個展「2012-2015」
2016年 Design Cafe3に参加



KEIJI MORIYAMA



KANAE MORIYAMA



ARTIST'S VOICE

wakuwaku works はそれぞれ活動する中で得た刺激を持ち寄り、自分たちがわくわくできる“モノ・コト・バシヨ”などを作りあげ、また一緒に活動する中で得た刺激をそれぞれの制作で活かしていこうというコンセプトで生まれたユニットです。国見町は移住してこられた作家さんが多く、モノヅクリに対する姿勢や作品の魅せ方などいつもとても多くのことを学ばせて頂いています。また自分たちの中で行き詰まった時に、すぐ相談のってもらえる作家さんばかりなのでとてもありがたく、そして心強く思っています。

ADDRESS

tel. 090-5734-6401
メール beppu.hmm.2013@gmail.com



写真左から和田木乃実、圭介、薫

和田 木乃実 和田 圭介・和田 薫 涛音寮

KONOMI WADA
KEISUKE WADA, KAORI WADA
—— 表装

和田 木乃実 略歴

1959年 国見町生まれ
1986年 結婚を機に、義祖父から表装表具を学び
宇佐市、山口県の表具師に師事。古い修
復等も学び、独自の創作屏風を制作。
1997年 国東半島国見町に県内外の芸術家の作
品発表の場所として、「涛音寮」を開館

展示会

2003年 大分文化センター(オアシス大分)にて個展
2004年 東京銀座松屋にてグループ展
2006～現在 アクロス福岡にて個展
2009～現在 小倉黒崎井筒屋にて個展
2011、13、16、17年 熊本伝統工芸館にて個展
2017年 大分銀行 宗麟館にて個展(大分市)

和田 圭介 略歴

1986年 国東生まれ
2009年 大学卒業後、(株)熊本ケーブルネットワーク
へ入社(現JCOMくまもと)
2012年 国東に戻り涛音寮へ入社、母より表装の技
術を教わる
2015年 岡山県・山王堂の表具師へ師事

和田 薫 略歴

1987年 熊本生まれ
熊本の企業に勤め結婚を機に国東へ。
現在は家族と共に修復の仕事に携わりな
がら古布を使ったアクセサリー制作も行な
っている。

ARTIST'S VOICE

実家である涛音寮で、掛軸や屏風の修
復をする表装の仕事をしています。また
その技術を応用して、着なくなった着物
や帯を使い創作屏風の制作も行ってい
ます。和室だけでなく、洋室にも合う作品
を制作しています。24 年前に涛音寮とし
て開館した当時は、周りに物づくりの作
家さんやアーティストの方はほとんど住
んでいませんでした。ここ 10 年くらいで
多くの方が移り住んでくれた事大変嬉
しく思います。自分たちの創作活動にも
周りの作家さんの意見を参考にしたり、
勉強になることも少なくありません。



ADDRESS

大分県国東市国見町伊美 2017
tel.0978-82-1328





桎木高 画家

TAKASHI MASAKI
—— 絵画

略歴

1950年 大分県中津市生まれ
1969年 大分県立中津南高等学校卒業
1974年 大分県立芸術短期大学美術科絵画コース卒業

受賞歴

1977,79年 関西国展(関西国画賞)
1983年 日仏現代美術展
(佳作、ソシエテ=ナショナル=デ=ポザール賞2席、
フランス=ソワール賞2席、ビプリオティック=デ=ザール賞3席)
1984年 日仏現代美術展(佳作、サロンコンパレゾン賞3席)
1986,90年 国展新人賞
2004年 第16回しんわ美術展(グランプリ)
2006年 第16回花の美術大賞展(大賞)
2019年 大分県美術展(県知事賞、県美術協会優賞)

展覧会

1981年 シェル美術賞展
1991年 国展受賞作家展(銀座・サエグサ画廊)
1993年 個展(梅田・阪神、名古屋・三越、新宿・小田急)
1998年 個展(福山・天満屋、大分・トキハ)
2012年 桎木高個展「火・森・水」-寂々たる世界-
(大分県立芸術会館)(画廊ぶらんしゅ/大阪)
2014年 第10回牛久ビエンナーレ、
第10回西脇市サムホール展
個展「森と水」(ぎやるりーら・ばれっと/大分)
2015年 個展「古代譚」(楓ギャラリー/大阪)
2016年 グループ「ちんてくら」展
(ぎやるりーら・ばれっと/大分)

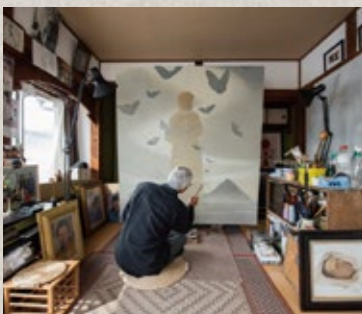


ARTIST'S VOICE

大阪府堺市から転居して1年3ヶ月(2020年12月現在)ですが、国東半島の自然と文化にインスピレーションを得て、人生の最終章に「喪失と再生」をテーマに制作を進めています。匂うような白色で幻想的な世界を表現していきたいと考えています。一連の作品を「国東物語」として描いていこうと思います。

ADDRESS

大分県国東市国見町伊美 2534-4
tel.0978-82-0923



佐藤 公道 佐藤 常晃

仏像彫刻工房
如法

KIMIMICHI SATO
TSUNEAKI SATO
—— 仏像彫刻

佐藤 公道(仏師号：順教 / 写真左) 略歴

1942年 福岡県北九州市生まれ
北九州市立足立中学校卒業
中学の頃から、油絵を描き始める。
16歳で大病を患い17歳のとき医者にも見
放されるが、新薬によって命をつなぐ。
回復後に修験道に入り初彫。

1965年 修験道にて得度
1973年 真言宗にて得度 大法師 順教 授印可
1990年 国東に移り住み、仏の里にて仏を刻む

受賞歴

2010年 大分県美術協会 春季県美展 奨励賞
(日洋彫工部)

納品履歴

島根県 津和野(報国寺)不動尊
静岡県 沼津市(宝珠院)不動尊
宮崎県 高原(遍照寺)阿弥陀如来

佐藤 常晃(写真右) 略歴

1968年 福岡県北九州市生まれ
福岡県立田川工業高等学校
インテリア科卒業
仏壇製造の会社で1年ほど働いた後、
父の元で彫刻の道に入り現在に至る。

主な仕事

北九州市 湖月堂本店看板製作
北九州市木屋瀬 古民家トイレ 和風リフォーム
別府市 いなせ改装
宇佐市安心院 三階屋古民家再生
豊前市 飲食店オーナー宅 着席用お茶席作り
中津市 貴船神社 舞殿建設
中津市 三光村 御堂建築
豊後高田市 胎蔵寺 御堂建築
中津市 松龍寺 仏具製作、外陣建築
佐伯市 黒沢地蔵尊 前机制作



ARTIST'S VOICE

北九州で製作活動をしていましたが、より一層、仕事に集中できる場所を探していました。仏の里でもある国東に足向け、空き家はないかと探ね歩いたのがきっかけで国見町に住んで30年が過ぎました。かつては隆盛を極めたであろう国東半島で仏教文化(神仏習合)の歴史の背景と共に、手直しが必要な仏の病院のような役割を担えたらと思っています。楽になりたいとも思いつながら、まだまだ挑みたい私もあります。生活の糧にはなりにくい世界ですが、心に留まる方がおられればご縁継ぎしてゆきたいと願います。



ADDRESS

大分県国東市国見町千燈 1187-1
tel.0978-82-0822

中野直美

NAOMI NAKANO, SHUSAKU MARK NAKANO
—— 陶芸・ガラス工芸

中野・マーク・周作 エ工房ラパロマ

略歴 1999年 国見町へ移住。ラパロマ設立。
展覧会 2007年 大分県竹田市長湯「ルカスホール」にて三人展
 (以後マーク周作ラパロマ本格参加)
 2009年 マーク周作 別府ギャラリーおおのにて初個展
 2015年 マーク周作 大分アートプラザにてグループ展「Pickup Artist展」参加
 2016年 マーク周作 大分県立美術館にて障がい者アートに関わるアート展「Action!」参加(作品展示・ワークショップ開催)
 マーク周作 大分市美術館にてグループ展「CIAO!」参加



福永泰信 陶房ふくなが

YASUNOBU FUKUNAGA
—— 陶芸

略歴
 1969年 鹿児島県生まれ
 1992年 鹿児島大学工学部中退
 福岡県の原鶴窯に勤務
 1995年 北九州の九州民芸村に勤務
 2007年 大分県国東市国見町に移住
 2008年 薪窯を築窯 作陶を始める

展示会
 2009年 トキハ別府店画廊
 「磁力と地力」アートプラザ(大分市)
 2011年 「磁力と地力」アートプラザ(大分市)
 ギャラリー連(日田市豆田町)
 能見邸(杵築市)
 2012年 風の住処二人展(佐伯市)
 2013年 「磁力と地力」アートプラザ(大分市)
 黒崎井筒屋(福岡)
 大分トキハ本店(大分市)

2014年 大分トキハ本店(大分市)
 2016年 毛利邸ギャラリー舞衣(防府市)
 2017年 豊後高田市花琳舎三人展
 広島そごうクラフト展
 2020年 広島福屋八丁堀店本店画廊



NAOMI NAKANO



SHUSAKU MARK NAKANO



ADDRESS
 大分県国東市国見町伊美 2499-1
 tel.0978-82-0065



ARTIST'S VOICE

ラパロマは家族3人で営む工房兼ギャラリーです。1999年、作品を作り生活してゆくとため国見町に陶芸とガラスの工房を開きました。この場所で3人は、それぞれの世界を作り出します。オーナーである中野伸哉はイラストレーターとして活動しながら陶芸作品を制作し、マーク周作は手びねりで独特な造形作品を、直美は鑄込み技法でガラスと陶芸作品を制作しています。生活と創造を密着して行えるこの土地の豊かさに感謝しながら。



ADDRESS
 大分県国東市国見町岐部 1210-4
 tel.080-5283-0243



ARTIST'S VOICE

2007年に家族で北九州から国見町に移住しました。薪窯とガス窯を使い、「日々の暮らしを豊かにしてくれる器作り」をテーマに、焼締め、灰釉、粉引の作品を作っています。仕事は薪作り、土作り、灰作り、作品作り、窯焚き等、手間のかかる作業が多いですが、それぞれ楽しみながらやっております。縁もゆかりも無い土地ですが、生活、仕事をする場所として国見町を選んだ事に、間違いは無かったように思います。

